

SINOPSIS

概略

人形は人間の文化から生まれた美術品の形の一つである。達磨人形は日本社会で作られた美術品である人形の一つである。その上、日本社会のほとんどの人々により幸運のお守りとして信じられている為、日本社会の文化の形になったものである。紙のパルプからできている達磨人形は、悟りを得る為に、9年 の黙想をして、目、足と腕をなくした禅宗の仏教僧のイメージを形にしたものである。その為、達磨人形は腕、足と目は無い状態で作られている。その他に、底面も重くされているので、倒されても元の状態に戻って倒れることはない。

達磨は賢明な存在として日本社会で知られている。歴史によると、達磨は紀元前5世紀若しくは紀元前6世紀ごろにインドから日本へ渡来した。日本社会では、達磨人形についての話は「達磨を靈体の神、交差の神、伝染病の靈、肥沃の靈等と関係があるという神話的と迷信的な要素を含まっている。時間が流れると共に、達磨の伝説は日本でも広まった。

16世紀では紙のパルプで作られたこの人形は、子供を天然痘から守る為のお守りとして思われていた為、日本の社会で流行になった。18世紀から、天然痘のワクチンが日本に紹介された明治時代（1868年～1912年）でも、真紅の色をする達磨人形は未だ日本社会に流行のままで

あった。日本の社会は達磨人形を事業、政治、結婚とその他の事業の成功と幸運のお守りとして思っていた。達磨人形もお正月の時の、全国的に伝統的なお守りだという説もある。

時間が流れると共に、達磨人形は日本の社会によりもっと好まれていき、ある記事の中で、そのことは未だ続いていると記載されていた。その上、毎年の 1 月の 6 日と 7 日で、約 40 万人の幸運を探している人々は高崎にある寺で達磨人形を買いに行き、また、達磨人形は目が塗られていない状態（目が空いている若しくは目の絵が無い）で売られている。購入者が自分の手で達磨の人形の目を一つ、一つ塗ることができる様に、わざと空けている。

その後、筆者が何人かの回答者（日本人）への回答をした結果、どれくらいの日本人が未だ達磨人形が幸運をもたらすものとして信じていること、どれくらいの日本人がもう達磨人形が幸運をもたらすものとして信じないことを知ることができた。

回答者（日本人）に提供されたいくつかの質問はいくつかの話題に分けられている。第 1 の話題は達磨人形とその神話についての日本人の認識についてである。第 2 の話題は幸運をもたらす象徴の達磨人形について話している。第 3 の話題は達磨人形が幸運をもたらすものとして信じている日本社会について話している。

第 1 の話題は達磨人形とその神話と現在の日本社会について話している。「達磨人形を知っていますか?」という質問に対して、回答を挙げた何人かの回答者は全員、達磨人形を知っていると回答した。次に、「達磨人形の神話を知っていますか?」という質問を聞いたとき、ほとんどの回答者は達磨人形の神話を知らないと回答した。しかし、回答者の中で達磨人形の神話を知っている回答者もいる。ここで知ることできるのは、全ての回答者（日本人）は達磨人形を知っているが、その達磨人形の神話を知っているのは全ての回答者ではない。

第 2 の話題は幸運をもたらす象徴である達磨人形についてである。そのことに関わって、筆者が挙げた質問である「あなたにとって達磨人形は幸運の象徴ですか?」、「どの様なの時に、達磨人形を買いますか?」と「ある願いがある時に、達磨人形を買いますか?」という質問に対して、回答した回答者がいた。その質問から筆者は達磨人形を幸運の象徴として思わない回答者の比率が多くても、達磨人形が幸運の象徴として思われる回答者（日本社会）は未だいるという答えを得た。

第 3 の話題は達磨人形が幸運をもたらすものとして信じている日本社会について話している。何人かの回答者がくれた回答のなかから知ることができるのは、日本社会にとって達磨の人形が幸運をもたらすことができることは科学的理由がないし、迷信であることなので、ほとんどの回答者は達磨の人形が幸運をもたらすものであることを信じていない。し

かし、達磨の人形は幸運をもたらすことができると信じている何人かの回答者（日本社会）にとって、達磨人形を持ったり、達磨人形に希望を掛けたり、依頼を作ったりすることで幸運か成功が来ることを信じているからである。

上記に書いてある達磨の人形についての話題から、全体の結論を得られた。回答者（日本社会）に対する研究の結果として、達磨人形は幸運をもたらすものであることを信じない回答者（日本社会）が現在多いのは、その信仰は迷信で、科学的な理由がないだと思ったからである。しかし、達磨人形が幸運をもたらすものだと信じている回答者（日本社会）は何人かいいる。なぜなら、彼等は自分の文化にある歴史と神話の存在を知っていて、認めている上、達磨人形に関することも信じていて、確信している。

DAFTAR ISI

HALAMAN JUDUL.....	i
HALAMAN PENGESAHAN.....	ii
HALAMAN PERNYATAAN ORISINALITAS.....	iii
PERNYATAAN PUBLIKASI SKRIPSI.....	iv
KATA PENGANTAR.....	v
DAFTAR ISI.....	vii
DAFTAR GAMBAR.....	ix
DAFTAR DIAGRAM.....	x
BAB I PENDAHULUAN.....	1
1.1. Latar Belakang.....	1
1.2. Pembatasan Masalah.....	3
1.3. Tujuan Penelitian.....	3
1.4. Metode dan Pendekatan Penelitian.....	3
1.5. Sistematika Penulisan.....	6
BAB II MITOS BONEKA DARUMA.....	7
2.1. Mitos.....	7
2.2. Mitos Boneka Daruma.....	9
2.3. Makna Warna Boneka Daruma.....	13
2.4. Perkembangan Boneka Daruma di Jepang.....	16
BAB III ANALISIS PANDANGAN MASYARAKAT JEPANG TERHADAP MITOS BONEKA DARUMA SEBAGAI PEMBAWA KEBERUNTUNGAN.....	19
3.1. Masyarakat Jepang yang mengetahui Boneka Daruma beserta Mitosnya.....	20
3.2. Boneka Daruma Simbol Pembawa Keberuntungan.....	24

3.3. Masyarakat Jepang yang Percaya terhadap Boneka Daruma sebagai Pembawa Keberuntungan.....	35
BAB IV KESIMPULAN.....	48
DAFTAR PUSTAKA.....	51
LAMPIRAN.....	xi
SINOPSIS.....	xv
RIWAYAT HIDUP PENULIS.....	xix

DAFTAR GAMBAR

Gambar 2.2.1. Bodhidharma.....	11
Gambar 2.2.2. Daruma.....	12
Gambar 2.3.1. Macam-macam warna boneka Daruma.....	15
Gambar 2.4.1. Pembuatan boneka Daruma di Takasaki.....	18
Gambar 2.4.2. Festival Boneka Daruma.....	18

DAFTAR DIAGRAM

3.1.1. Diagram presentasi hasil jawaban dari pertanyaan angket nomor 1.....	20
3.1.2. Diagram presentasi hasil jawaban dari pertanyaan angket nomor 2.....	21
3.2.1. Diagram presentasi hasil jawaban dari pertanyaan angket nomor 4.....	25
3.2.2. Diagram presentasi hasil jawaban dari pertanyaan angket nomor 6.....	29
3.2.3. Diagram presentasi hasil jawaban dari pertanyaan angket nomor 7.....	29
3.2.4. Diagram presentasi hasil jawaban dari pertanyaan angket nomor 8.....	31
3.2.5. Diagram presentasi hasil jawaban dari pertanyaan angket nomor 10.....	35
3.3.1. Diagram presentasi hasil jawaban dari pertanyaan angket nomor 3.....	36
3.3.2. Diagram presentasi hasil jawaban dari pertanyaan angket nomor 5.....	39
3.3.3. Diagram presentasi hasil jawaban dari pertanyaan angket nomor 9.....	42